

**Q1・目指すクロッキーや憧れているクロッキーは、どのようなものですか？**

目指すものは自然体で挑んだ、大胆かつ繊細な作品で例えるなら長谷川等伯の松林図屏風の様な世界観です。憧れるのはシンプルで不要な要素を全て取り除いたソリッドなもの。例えるならマティスのペンで描いたデッサンです。

**Q2・クロッキーで大切にしている要素は何ですか？**

ひらめきです。目の前で起こる一瞬での出来事を反射的に反応できる様に、冷静さも必要だと考えています。

**Q3・何分のクロッキーが好きですか？また、時間に制約がある事には、どんなメリットがありますか？**

時間に合わせて表現内容を変えるので、特にこれが好きというものはありません。時間が短くなればなるほど抽象度は増して行き、スリリングな展開になるでしょう。

**Q4・画面の大きさの好みはありますか？理由があれば教えてください。**

木炭紙大（500×650mm）程度～全紙（788×1091mm）程度の大きさです。ある程度の大きさがあった方が身体全体を使った表現が出来るので、あまり小さな紙よりも少し大きめの方が好みます。

**Q5・クロッキーの描き出しはどんなことに気を使いますか？**

画面全体のバランスと勢いです。最初の方で思い切りよく行かないと、後半で取り返しがつかない事が多い気がします。

**Q6・クロッキーの終盤にはどんなことに気を使いますか？**

描き出しとは違う意味での全体のバランスです。描き出しは構図やプロポーションを意識した全体感ですが、後半は作品として成立させる為の絵画上のバランスになります。

**Q7・クロッキーをしていてどんな時に慌てますか？また、どんな時に確信を得ますか？**

慌てるのは想定外のハプニングが起こった時です。滅多にありませんが、想像以上のリカバーが出来たと思えた時には確信が生まれます。

**Q8・動きのあるポーズと静的なポーズどちらが好みですか？又は好きなポーズの傾向はありますか？**

ヌードだと動きのあるポーズの方が好みますが、コスチュームだと服装によってもずいぶん違ってくると思います。

**Q9・手に取る画材によって、描く対象の見え方は変わりますか？**

対象の見え方自体は変わりませんが、画材によって捉え方や表現方法は変わってきます。例えばペンと木炭では素材の性質が違いすぎて、同じ様に捉える事は難しいと思うからです。

**Q10・クロッキーとそれ以外の作品との関係性をどう考えていますか？**

描く素材と時間が異なるだけで、大きな隔たりはないと思っています。